

## 2 施策の方向性

### (1) 在宅医療に係る地域住民への普及啓発

- ・地域住民が在宅医療や介護について理解し、必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるよう、在宅医療・介護サービスに関する講演会やパンフレット作成・配布、ホームページ掲載等により、地域住民の理解を促進します。
- ・ACP「人生会議」について情報発信を継続し、若い世代も含めた地域住民が人生の過ごし方や最期について考えることができるようにします。
- ・住民向け相談窓口については、引き続き周知をしていき、資源として活用できるようにします。

看取り

普及啓発・周知

日常の療養支援

### (2) 在宅医療関係機関・多職種のネットワークの充実

- ・医療と介護の連携を図るうえで、本人を取り巻く関係機関・担当者が相互に わかるための情報共有ツール（私のかかりつけ手帳）が活用できるよう周知していきます。
- ・くまもとメディカルネットワークを活用した関係機関の連携が定着できるよう、医療・介護の関係機関に周知をし、積極的に取り入れることができるようにしていきます。
- ・多職種の協働・連携に関する研修や医療・介護に関する研修を実施し、他分野の情報や知識、現状等を理解し合い、また研修を通して関係を築くことで、多職種の連携がスムーズに行えるようにします。
- ・地域在宅医療サポートセンターの普及啓発を行うことで、医療・介護の関係者が入退院調整や医療機関・介護事業所相互の紹介等を受けることができるようにします。

看取り

提供体制

普及啓発・周知

ネットワーク

### (3) 在宅療養支援体制の構築

- ・地域在宅医療サポートセンターや天草郡市医師会、天草圏域の市町の在宅医療・介護連携推進事業と連携を図り、限られた人材や資源を活用し、多職種の連携強化を図り、実現可能な体制づくりをしていきます。

看取り

提供体制

ネットワーク

日常の療養支援